



月報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

伊勢あさくさ海苔 今漁期初出品

2月21日(金)、松阪のり流通センターで開催された第5回黒のり共販で「伊勢あさくさ海苔」が出品された。

「伊勢あさくさ海苔」は、絶滅危惧種に指定されるほど希少種であるアサクサノリを、三重の生産者らの努力下、平成26年養殖に成功したもの。外部分析機関でのDNA検査、等級検査時の食味評価などにより厳選されたものが共販に出品されている。

今シーズンは、桑名地区の生産者が養殖に取り組み、高気温・高水温の影響や食害被害を受けながらも根気強く生産が行われた。

最高値の等級は、100枚あたり23,000円で取引され、三重県の共販において歴代最高値となった。



海の子作品は三重漁連のHPから閲覧できます→

青さのり共販初市を開催

2月13日(木)、松阪のり流通センターにおいて、第1回青さのり共販が開催された。

当初初市は1月17日開催予定であったが、県内生産地では生育が遅れており出品数量がまとまらず延期となっていた。

入札では、松阪漁協出品の三雲産が最高値11,000円(1kgあたり)をつけるなど、活気にあふれる初市となった。

青さのり共販結果 (2/13)

数量：15,617kg
平均単価：8,725円(1kgあたり)
最高値：11,000円

2024年度全国海の子絵画展 三重県から3名が特別賞を受賞

JF 全漁連が行っている「全国海の子絵画展」の特別賞入賞者が発表された。

各道府県から推薦された中から特別賞28点(小学校18点、中学校10点)が選出され、三重県からは小学校の部2点、中学校の部で1点が特別賞に選ばれ、3月28日に全国表彰式で表彰される

特別賞受賞者(三重県)

小学校の部

○水産庁長官賞

「養殖筏と工場」

志摩市立大王小学校6年 坂中菜千さん

○日本放送協会会長賞

「父ちゃんが海でとってるもの」

鳥羽市立弘道小学校1年 岡野天栄さん

中学校の部

○農林水産大臣賞

「繋ぐ伝統の味～梶賀の炙り～」

尾鷲市立尾鷲中学校1年 片原和音さん

伊勢神宮内宮 青さのり奉納

2月20日(木)、県内の青さのり生産者で構成される青さのり事業推進委員会は、伊勢神宮内宮へ今年収穫した初物の青さのりを奉納した。この取組は生産者が海の恵みへ感謝し、永続豊漁を祈願して毎年開催されている。



漁業就業支援フェア 2025 in 大阪

2月15日(土)、大阪 OMMビルにて、漁業就業支援フェアが開催された。

三重県漁業担い手対策協議会が参加し、漁業の魅力や仕事内容の他、具体的な求人情報などを来場者に丁寧に説明した。

イベントホールで、初めて会う来場者と真剣に、時には楽しそうに説明を受けている姿が見られた。



花しょうぶサミット 伊勢おはらい町

2月17日(月)、伊勢 おはらい町にて、経営者協会が主催する花しょうぶサミットが開催され、三重県漁協女性部連合会が参加した。

県内外の学生と県内と各団体が集まり、「三重県の魅力」をテーマにグループディスカッション等を行った。

また、「地産地装」をテーマとした、伊勢木綿・松阪木綿で作られた着物を着て、伊勢の魅力を知るため散策などの時間も設けられ、参加者は実りある時間を過ごした。



【主な予定】

○3月8日(土)

第24回 三重漁民の森造成事業
(津市 美杉)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。